



枝光台中だより

令和4年11月29日
校長室通信 第8号
文責 校長 幸野 英明

人間は考える葦である～AIではなく人間にしかできないこと。

パスカルは、「人間は一本の葦にすぎない。自然の中で最も弱いものである。しかし、それは考える葦である。」と言っています。

あるクラスの学級通信のタイトルは「人にしかできないこと」でした。理科の授業で科学的にわかっていないこと、絶対解のない問いに対して、多様な意見を出す生徒の生き生きとした姿、大切さについて書かれていました。このような授業をするためには、対話を通して、人の考えを知り、自分の中に受け入れながら考えを形成していくという心の基盤がとても重要です。

アメリカの未来学者が「2045年にシンギュラリティ（AIが人類の知能を超越した場合、AI自身がAIを開発するという未来）が到来する」と予測しました。

しかし、その一方、現段階ではAIではなく人間にしかできないこととして、コミュニケーション能力と絶えず学びその場で適応する能力があると言っている人もいます。

例えば、「〇〇さん、なんだか体調が悪そうだな」と思えば、「顔色が悪いですが、大丈夫ですか？」
「この前のイベント、楽しかったね！」「また行きましょう！」など、過去の話や体調を気遣う話などは、AIにはできません。柔軟な対応力や理解力は、コミュニケーション能力から生まれます。

さて、11月17日（木）に、本校では3年ぶりに本校で研究授業を行いました。

相原先生が1年2組で数学の授業をされました。めあては「比例・反比例のどちらが適切か、根拠を明確にして説明しよう。」でした。文章問題を読み取り、比例、反比例を判断し、答えを求めるといったものです。

問題は次のとおりです。「袋の中にビー玉が（ ）g入っています。全部で何個入っているのかを求めるために、次のようなことを調べました。袋の中から、両手でビー玉を取り出すと20個すくえて、その重さは90gでした。袋の中のビー玉がx個のとき、重さがygとして、次の問いに答えなさい。」

- ① yはxに比例するか、それとも反比例するか、また、そう考える理由を答えなさい。
- ② xとyの関係を式に表しなさい。

さて、皆さんならどう答えるでしょうか。

授業の中では、まず個人で考えそれを班で共有し、班員みんなで正解を導き出していきました。

最初は、 $y = 20x$ と考えていた生徒が、他の班員から、「まず、ビー玉1個の重さを出してみよう。」という意見を聞き、ビー玉1個の重さは、4.5gだから $y = 4.5x$ という式を考えつきました。

この生徒は、短い授業の中で、対話を通して学び、考えを修正し新たな考えを形成したわけです。

他にも授業の中では、表を使って考えるなど、様々な方法で解を導き出していた班もありました。

今回の授業を通して、子どもたちは、本当に柔軟な発想で他の人の考えを受け入れながら、その場で適応できるんだと思われました。これからも、子どもたちの大きな可能性に期待していきたいと思います。



11/11 北九州英語村 (KGG) で、英語のスタジオを体験する1.2年生。



11/17 数学の研究授業で、考えを交流し考えを深めている1年生。



11/17 研究授業でタブレットを使った授業についても学ぶ先生方。



11/18 花いっぱい運動で、地域の事業所に配る鉢植えを作る1年生。

【今後の主な行事予定】

- 11月30日（水）中村文昭氏講演会（兼 家庭教育学級）
- 12月 5日（月）～9日（金）人権週間の取組
- 12月 6日（火）北九州市学力・学習状況調査（1, 2年）
- 12月 7日（水）思春期健康教室（1年）
- 12月 8日（木）九国大付高校体験学習（2年）
- 12月 9日（金）大掃除
- 12月16日（金）～21日（水）保護者懇談会
- 12月23日（金）2学期終業式
- 12月27日（火）28日（水）1月4日（水）学校閉庁日

《令和5年1月以降の予定》

- 1月10日（火）3学期始業式
 - 1月11日（水）実力テスト（3年）
 - 1月18日（水）あいさつ運動
 - 1月19日（木）中学校説明会（枝光小）
 - 1月20日（金）私立推薦入試
 - 1月25日（水）公立特色化選抜入試
 - 1月26日（木）中学校説明会（ひびきが丘小）
 - 1月31日（火）2月1日（水）2日（木）私立一般入試
- ※新型コロナウイルス感染症等の影響により予定が変更になることがあります。